

平成 29 年度岩手県中堅期保健師研修会開催要領

1 目 的

保健師のキャリアにおける中堅期は、複雑困難事例への対応や住民・関係職種機関と協働しながら地域保健活動を展開する実践力が求められるとともに、職能としての専門性や姿勢を確立していく時期である。そこで、専門職としての能力を高め、職業観を醸成することにより、志を継続しながら、より発展的に住民の健康の向上に取り組む保健師を育成することを目的とする。

○ 保健師を取り巻く現状と課題

- ・複雑困難な事例や健康危機管理事例発生等の新たな健康課題への対応
- ・保健師の年齢構成の不均衡により保健師活動の継承が困難
- ・組織の活動領域の拡大や組織体制の改編による保健師の分散配置
- ・市町村合併に伴う人口規模の拡大及び職員の削減による地域での活動の減少
- ・県、保健所が市町村支援として人材育成の役割を担える体制強化

○ 本研修の位置づけ

岩手県保健師人材育成指針（平成 27 年 1 月）に基づく保健師現任教育体制のうち中堅期の研修であること。

2 実施主体

岩 手 県

3 実施機関

公益社団法人岩手県看護協会

4 対 象

- (1) 岩手県内の行政機関に従事する中堅期の保健師等（概ね採用 4 年目～20 年目）
- (2) 採用 21 年目以上の聴講を希望する保健師

5 日時・定員

第 1 回：平成 29 年 12 月 11 日（月） 9：25～16：10（定員 40 名）

第 2 回：平成 30 年 1 月 30 日（火） 9：55～16：20（定員 40 名）

6 場 所

第 1 回：岩手県看護研修センター 3 階 研修ホール

住所：盛岡市緑が丘 2-4-55 電話 019-662-8213

第 2 回：アイーナ（いわて県民情報交流センター） 5 階 501 会議室

住所：盛岡市盛岡駅西通 1-7-1

7 内 容

別添プログラムのとおり

※グループワークの内容については、予め考察の上参加すること。

8 受 講 費

無 料

9 受講申込

- (1) 別紙受講申込書にて 12月1日(金)までにFAX等にて申し込むこと。
- (2) 原則として2回の受講とするが、どちらか1回の受講も受け付ける。
- (3) 聴講希望者(採用21年目以上の保健師)は、申込書の備考欄に「聴講」と記入すること。

10 その他

- (1) 昼食・飲み物は各自用意すること。
- (2) 駐車場
第1回 看護研修センター裏の校地を利用すること。利用料無料。
利用時間 8:30~17:00 厳守
第2回 アイーナ近隣の有料駐車場を利用すること。

11 担 当

公益社団法人岩手県看護協会

問合せ先：公益社団法人岩手県看護協会 専務理事 北村 和子
運営担当 琵琶坂和江

盛岡市緑が丘 2-4-55

電話：019-662-8213 FAX：019-662-9550

平成 29 年度岩手県中堅期保健師研修会プログラム

第 1 回 [平成 29 年 12 月 11 日 (月)]

会場：岩手県看護研修センター 3 階研修ホール

《目標》 保健師としての職業観や専門性を明らかにし、今後の活動の方向性を確立する

	時間	形式	内容	講師・発表者等	ねらい
	9:00		(開場)		
全体	9:25～9:30		オリエンテーション	進行：琵琶坂 和江	
	9:30～9:35	挨拶	挨拶	公益社団法人岩手県看護協会 会長 及川吏智子	
	9:35～11:00 (85分)	講義	ー公開講座ー 「中堅期保健師に期待される役割と責任」	講師：公益社団法人日本看護協会 健康政策部 部長 村中 峯子 氏	
	11:00～12:10 (70分)		平成 29 年度岩手県中堅期保健師コンサルテーションプログラム 活動成果の発表 6 事例	発表者： コンサルテーション受講者 6 名	○地域の健康課題の分析や住民ニーズに基づく組織的な活動の実践を学ぶ
	12:10～13:10 (60分)		(昼食)		
全体	13:10～13:20	説明	グループワークの目的と進め方の説明		
グループ	13:20～13:30 (10分)	個人ワーク (10分)	「これまでの活動の自己評価をしよう」	進行：琵琶坂	○これまでの活動を振り返り達成度を評価する ○岩手県人材育成指針自己評価シート
	13:30～14:35 (65分)	個人ワーク (10分) グループワーク (40分) 発表・全体 討議 (15分)	○自己紹介・アイスブレイキング ○グループワーク 「テーマ1：保健師とは何をする人？ 保健師の活動を言語化しよう」 ①自身の実践の振り返りから、自分の言葉で保健師の活動を表現する ②住民への成果（アウトカム）で考える	講師： 岩手県看護協会 保健師職能委員	○保健師の活動の成果を「見える化」することは、地域の健康課題に住民や多職種と協働して取り組み活動を継承するために必要不可欠である。
	(10分)	休憩			
グループ	14:45～16:00 (75分)	個人ワーク (10分) グループワーク (45分) 発表・全体 討議 (20分)	○グループワーク 「テーマ2：保健師に必要な能力は何かを考えよう」 ①実践の中で感じている保健師としての能力の課題とその理由 ②今後習得したい地域保健活動の専門知識・技術と習得方法	講師： 岩手県看護協会 保健師職能委員	○「保健師に必要な能力は何か」を日頃の活動を通して改めて考え、言語化することで、自己の保健師像を確立し、モチベーションの向上やアイデンティティの強化につなげる。
全体	16:00～16:10 (10分)		事務連絡・アンケート		

第2回目 [平成30年1月30日(火)] 会場：アイーナ（いわて県民情報交流センター）501会議室

《目標》 災害時の保健活動の知識・技術を習得することにより、自組織での発災時の活動や他自治体への支援活動に備える。

	時間	形式	内容	講師・発表者等	ねらい
	9:30		(開場)		
	9:55		オリエンテーション	進行：琵琶坂 和江	
全体	10:00~10:05 (5分)	挨拶		公益社団法人岩手県看護協会 副会長 奥寺 三枝子	
全体	10:05~10:45 (40分)	行政説明	自治体における災害時の健康支援について	岩手県保健福祉部 健康国保課 主査 豊間根美恵氏	○本県における災害対応の根拠と保健師の役割を習得する
	(5分)	休憩			
全体	10:50~11:50 (60分)	講演	大規模災害における保健師の活動について	全国保健師長会マ ニュアル作成分担 事業者 奥寺三枝子氏	○平成25年に改訂されたマニュアルに沿って発災時の活動を具体的に習得する
	11:50~12:50 (60分)	(昼食)			
全体	12:50~13:50 (60分)	講演	軽米町における災害時保健活動マニュアルについて	軽米町健康福祉課 保健師長 日向 安子氏	○市町村におけるマニュアル策定経過や内容、活用を学ぶ
	(10分)	休憩			
全体	14:00~15:00 (60分)	講演	岩泉町平成28年台風10号被害における健康支援について	岩泉町町民課 主幹兼統括保健師 高鼻美智子氏	○発災直後からこれまでの保健活動の実践から、各段階の課題と支援の要点、住民・関係機関との協働による町づくりについて学ぶ
	(10分)	休憩			
グループ	15:10~16:10 (60分)	グループワーク (45分) 発表・全体 討議 (15分)	保健師として自治体職員として大規模災害にどう備える？ ①自身の保健師としての課題は何か ②自組織における課題は何か ③課題解決のために、今後取り組むべき方策は何か～明日から取り組むこと～	進行：琵琶坂 サトウ 岩手県看護協会 保健師職能委員	○災害対応における自身や組織の課題を出し合い、今後取り組むべき方向性を明らかにする
全体	16:10~16:20 (10分)		事務連絡・アンケート		